

令和7年度八王子市市民活動支援センター事業計画

八王子市市民活動支援センター

■令和7年度事業基本方針

八王子市市民活動支援センターは、市民活動の中間支援組織として、地域で活動する団体や市民をサポートすることで、地域の活性化と市民の生きがいや充実度の向上を図り「豊かで幸せな地域社会実現のための協働のまちづくり」に貢献することを役割としています。

市民活動団体の活動の場づくりだけではなく、基盤強化や信頼性、継続性をサポートする事業や、団体や地域との連携をコーディネートする事業にも力をいれて事業を計画しています。

当支援センターのビジョン「私たち一人ひとりがつながって、夢をカタチにできる八王子」を掲げ、多様な市民や団体との連携と協働により、引続き自立した市民力、地域力向上の実現に向け、市民あるいは市民団体が公益的あるいは社会貢献的な活動に参画する豊かな市民社会の実現をめざしていきます。

1. 市民活動の促進のための施設の提供に関する事業

(1) 初めて訪れる人にもわかりやすく使いやすい空間づくり

- ・センター入口の表示のデジタル化
- ・オープンスペース(フリースペース)の明るい雰囲気づくり(ディスプレイの工夫、空間の改善)

(2) 市民団体を支援する環境づくり(空間づくり)

- ・団体の会報コーナー、助成金コーナーのわかりやすい展示
- ・団体情報掲示板の充実
- ・貸し出しPC、機材の充実(オンライン会議等への対応)
- ・情報資料・図書コーナーの充実と適切な管理
- ・団体用貸し出しロッカーの運用

(3) 施設的环境と危機管理

- ・清掃、照明、空調などの利用環境の適正管理に努める。
- ・環境に配慮した施設管理を心がける。
- ・多数の市民や団体が利用することから、ビル管理会社と連携し、消防法に定められた自衛消防訓練への参加や防火上必要な教育研修等への参加及び緊連絡網の整備により、危機管理能力を高め施設利用者の安全安心の確保に努める。

2. 市民活動を行う者、市民、事業者、市及び地域の相互の連携並びに交流の促進に関する事業

(地域・団体連携交流事業)

(1) はちおうじNPOフェスティバル2025～あつまれ!NPOの森～

開催日: 8月24日(日) 10:30~16:00

会場: 東京たま未来メッセ 展示場A・B、えきまえテラス(全面)

内容: 展示、物販、フードエリア、ワークショップ、ステージパフォーマンスなど

- ・このイベントでは、さまざまな団体が参加し、市民への市民活動の理解や紹介の場となるように、また交流の場となるように計画する。
- ・今年度は東京たま未来メッセ（東京都立多摩産業交流センター）は展示室 A・B しか予約できず、昨年の半分のスペースとなる。また、ホワイエや交流サロンスペースが使用できない。「えきまえテラス」との2会場で開催するが、暑さには十分配慮した開催にしたい。
- ・多世代が参加しやすいように、参加型ワークショップやパフォーマンスも企画したい（学生や子どもが参加しやすいようなワークショップなど）が、課題として会場のスペースの減少がある。

（２）NPO八王子会議

開催日時 2月15日 会場 東京たま未来メッセ会議室（予定） 定員50名～70名

テーマ「みんなで八王子を紡ぐ～共創のまちづくり～」

内容：市内のNPO団体や企業、行政、大学等多様なステークホルダーが参加し、社会課題の解決に必要なこと、これからの市民活動のありかた等について考える場とする。今年度は昨年度のテーマ「協力の作法」を進展させて、協力の作り方を再確認し、「連携・協力・共創」を行う具体的な連携のマッチングまでを目指したい。

（３）地域・団体交流会

テーマ別交流会

開催日時 7月6日（日） 会場 学園都市センター第1セミナー室 定員30名～40名

テーマ 「ゆるやかな居場所の必要性」（仮題）

この交流会は、団体同士の横の連携だけでなく、企業や行政や公共的性質を持った組織など多様なステークホルダーに呼びかけ、課題解決にむけて意見交換する場として開催する。

今年度はこれまでの開催成果を基礎として、より具体的に実現できるよう深堀するような話し合いの場となることを目指す。テーマはこれまでの交流会でもニーズの高かった「居場所」を取り上げる。

（４）出張支援センター（地域別交流会含む）

市民活動のより一層の広がりを目的として、中央地区以外での出張センターを開設する。これにより市内のさまざまな場所で活動する団体へセンターを周知し、市民活動の掘り起こしを行う。

また、当日来場した地域の団体どうしの交流会的な機能も果たす。

事業	センター1日出張	回数	4回/年
第1回	5月17日（土）西部地域：川口やまゆり館 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等		
第2回	9月20日頃 西南部地域 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等		
第3回	12月6日頃 北部地域 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等		
第4回	3月14日頃 東部地域 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等		

（５）団体連携のネットワーク構築

団体連携をさらに進めるために、テーマ別や課題別ごとに団体のネットワークづくりを推進する。
今年度は、団体連携のためのネットワークコーディネーターを置く。

３．市民活動に係る情報の収集及び提供に関する事業

今年度も市民活動の情報センターとして、団体向けや市民向けのさまざまな情報を収集し、紙媒体やオンライン媒体を使って発信する。

（１）広報紙「SUPPORT802」

- ・限られた紙面を出来るだけ有効に活かし、「市民活動」の情報提供の媒体紙として多くの市民団体のイベント情報などを取り上げ、市民が積極的に市民活動に関われる情報提供を行う。
- ・二次元コードなどを有効に活用し、オンラインとの連動を図る。
- ・広報紙の受け取り方を郵送 or Web の選択ができるようにすることで、紙の発行部数を減らす。
- ・年６回奇数月の発行、毎回 3,000 部（126 号～131 号）

回数	発行号数	発行予定日	配布先
①	第 126 号	5 月 1 日	八王子市各所管、公共施設、支援センター登録団体、協議会会員、紙面掲載団体、八王子市内郵便局（11 局）、八王子市内イトーヨーカドー（二か所）、東京ボランティアセンター（他市中間支援団体）、八王子市商工会議所、八王子まち・なか休憩所、ワーカーズコープ（千歳や）、多摩信用金庫（八王子支店）、八王子町会自治会連合会、ミニコミ紙、市内大学（7 大学）、各種イベント、窓口配布、その他
②	第 127 号	7 月 1 日	
③	第 128 号	9 月 1 日	
④	第 129 号	11 月 1 日	
⑤	第 130 号	1 月 1 日	
⑥	第 131 号	3 月 1 日	

（２）メールマガジンの配信

毎月 1 日配信

Eメールを利用して「SUPPORT802 便り」として、支援センターの館内情報や講座、イベントの開催案内、助成金情報、市民活動団体のイベント情報などを、メールマガジンの配布希望者などへ毎月配信するほか、支援センターFacebook にもその都度、UP していく。

（配信予定数）約 900 件

（３）支援センターホームページの改善・維持

・昨年度は、Web から会議室を予約できるシステムを導入した。今年度は登録団体への周知を徹底させて、電話、窓口予約を廃止し Web 予約に集約していきたい。

・NPO 法人や市民活動団体の様々な要望に対応すべく、適切な情報をわかりやすく発信するホームページの提供を心がけ、ページの構成など随時改良を図る。

今年度はホームページのリニューアルに向けて検討委員会を発足する。

（４）はちコミねっと

・はちコミねっとの活用促進～定期的な講習会、個別対応を継続

基本講座、個別相談会、ワンポイント講座等を適時開催する。

・はちコミねっとの周知 チラシ新バージョンの作成、利用マニュアルの作成

(5) SNS等の活用

SNSを活用した情報発信を行うことで、ホームページや「はちコミねっと」と連動し、センターのさまざまな取組みを効果的にアピールする。

(6) YouTubeを使った支援センター放送番組（隔月） 「とびだせ！市民活動」

オンラインをつかった市民活動紹介番組をライブ配信して、市民活動、活動団体の紹介などを行う。団体代表やメンバーへのインタビューをトーク番組形式で行う。その他、センターのイベントなどを告知する。

(7) 団体登録

1) 新規団体登録を促す。

2) 団体情報の更新

- ・宣誓時（年1回実施）に団体情報が最新であるか確認してもらう。

(8) ファイルサーバーの更新（NASの新規購入）

(9) サイボウズ office のカスタムアプリを利用した業務のDX化

4. 市民活動に係る啓発及び人材育成に関する事業

(1) パワーアップ講座

市民活動団体の運営スキルを向上させることを目的に、月1回ペースのシリーズ講座

No.	開催日	テーマ / サブテーマ	講師	定員
1	8/1 (金)	NPO 活動を始めよう ・活動にあった団体の「かたち」 (NPO 法人、一般社団法人、任意団体など) ・ビジョン・ミッションの策定	東京ボランティア・市民活動センター 森玲子さん(未)	12 団体 24 名
2	9/5 (金)	団体の運営 ・居心地のよい組織 ・仲間を増やす ・良い会議の進め方	(一社) サステナブルコミュニティ共創機構 横山泰治さん	12 団体 24 名
3	10/3 (金)	市民活動団体の広報戦略 ・ブランディングの方法 ・効果的な発信 ・はちコミねっとの効果的な使い方	・パブリックリレーションズコンサルタント 本多陽子さん ・センター職員	12 団体 24 名
4	11/7 (金)	団体の資金づくり ・ファンドレイジングとは ・伝わる助成金申請書の書き方 ・クラウドファンディングを成功させるコツ	・ファンドレイジング・ラボ 徳永洋子さん	12 団体 24 名
5	12/5 (金)	NPO の会計 ・NPO と NPO 法人の会計	・NPO 会計税務専門家ネットワーク 脇坂誠也さん	12 団体 24 名

6	1/9 (金)	活動の課題は何ですか？ ～プロボノワーカーと取り組むお悩み解決～	八王子市市民活動支援センター プロボノ担当	12 団体 24 名
---	------------	-------------------------------------	--------------------------	---------------

(2) アクティブ市民塾

市民が市民活動団体との交流を通じて「出会い」「学び」「共感」「団体入会」を生み出すために、参加型の講座として、これまでに 200 回を超える講座を開催した。今年度も市内の市民活動団体の紹介として参加型の講座としたい。

No.	開催日	テーマ / 講師団体	会場	
1	7月下旬	八王子平和・原爆資料館	クリエイトホール展示室(予定)	20 人
2	9 月	まちの図書室・保健室おさんぽ	現地	15 人
3	12 月	思い出カフェ ROKUMARU	市民活動支援センター	15 人

(3) 支援講座

NPOや市民活動団体向けに、市民活動の支援となる講座を行なう。

No.	開催日	テーマ	講師	会場	定員
1	4 月 25 日	簡単にできる大型ポスター、横断幕 ～今日からあなたも看板屋さん～	センター 鈴木	支援センター	15 名
2	5 月 22 日	NPO のお金の管理 ～Excel を使って楽に管理してみよう～	センター 大塚	同上	15 名
3	6 月 1 日	NPO に役立つ生成 AI を上手に使いこなそう	センター 濱野	同上	15 名
4	10 月	Google ドライブを活用しよう ～団体内の情報共有～	センター 上野・望月	同上	15 名
5	12 月	クラウドファンディングを成功させる コツ～成功事例を紹介しながら～	センター プロボノ 村本光男さん	同上	15 名
6	2 月	その困ったを解決します ～困った人とプロボノワーカーの交流会	センター 旗野・小林	同上	15 名

(4) 実践講座 定員 40～50 名 小学生～大人まで誰でも

市民向けに NPO や市民活動の実践につながるような講座を行う。

10 月中旬

テーマ：市民活動をしよう！～私たちが市民活動する理由～（仮）

地域コミュニティ、市民活動を題材にした動画を視聴し、「市民活動の意義、必要性」などを講義する。

5. ゆめおりファンド事業

(1) 「ゆめおりファンド」PRと団体の情報公開支援

1. 「ゆめおりファンド」のPR活動

- ・団体ニーズアンケート調査

「ゆめおりファンド」利用条件の是正と登録団体の見直し、ホームページ（HP）の更新

- ・支援センターHP、はちコミねっとHP、SNS等でタイムリーな発信

2. 団体の情報公開支援

- ・「ゆめおりファンド説明会」

はちコミねっと登録時に伝えてもらう。

センター一日出張時にPRする。

- ・「CANPAN」登録・更新支援 ファンド利用条件にはしないが、引き続きフォローする

- ・JCNE 第三者認証

協議会と連携してJCNEの「グッドギビング認証の紹介」をする

JCNE 説明会の開催も検討（協議会で出講依頼）する。

(1) 物品の支援

- ・寄附企業の開拓と関係性維持

- ・物品支援団体へのわかりやすい発信（提供物品の公開など）

物品と支援団体とのタイムリーなマッチングを図る

(2) 人財の支援

- ・プロボノ団体募集説明会・交流会開催

支援を受けたい団体とプロボノワーカーの募集とマッチング

場所：近隣公共施設

人数：20～30名

- ・プロボノワーカー協力による団体支援

PR：多様なメディアを使ったプロボノ情報発信の検討

(3) 資金支援のための検討（ファンド検討会）の継続

(4) 企業・団体訪問

- ・提案事項：企業の社会貢献、プロボノ、物品支援の依頼（信頼関係の構築）

6. 市民活動に係る相談に関する事業

- ・相談業務は相談者に寄り添い、受け止めることをモットーに対応する。
- ・相談内容の情報は職員内で共有し、職員のコーディネート能力のレベル向上に努めるとともに、相談者のさまざまなニーズに応える体制を整える。
- ・多様な知識、経験、コーディネート能力が求められるため、外部研修に積極的に参加し、多様な団体との交流を通し、スタッフのレベル向上に努める。
- ・令和4年度に改訂した「NPOマニュアル」を活用した相談の実施
- ・会計、財務、労務、税務等の専門的相談に対応し、司法書士、行政書士、税理士など専門家による相談にも対応する。

- ・NPO 活動団体が多い東部地区や市民活動支援センターに遠い地区で出張支援センターを開設する。相談業務を中心に、団体の役に立つ講座、交流会なども企画する。（年4回、上記地域・団体連携交流事業・出張支援センターにも記載）

7. 市民活動に係る調査及び研究に関する事業

- ・中間支援施設として、ニーズと期待に対応したサービス向上のため、開催する諸講座の「参加者アンケート」を実施する。
- ・「利用者満足度調査」の実施
- ・各種アンケート調査、モニタリング結果等を検証し、具体的事業の効果的推進に活かす。
- ・他の市区町村の情報や事例を収集することにより、中間支援施設としてのあり方の参考にする。
- ・必要に応じて、団体や市民へのアンケートやヒアリング等のNPOニーズ調査を行う。

8. 総務関連部門

- (1) 適正な文書管理
- (2) 施設設備の適切な管理（付帯施設・機器・物品の管理、整備）
- (3) 適切な経理処理（給与計算・コピー収入管理・物品購入）
- (4) 適正なスタッフ出退勤管理
- (5) 指定管理者モニタリングへの適切な対応
- (6) 「地域参加支援に関する情報交換会」への参加
- (7) 「8市・市民活動連絡会」への参加
- (8) 大学コンソーシアム、大学、大学生との連携、交流の強化
- (9) 大学インターンシップ及び市内中学校職場体験の受け入れ
- (10) 支援センター視察・見学来館者の受け入れ、対応
- (11) 市内のイベントへの参加・出展
- (12) スタッフの教育研修の実施と充実（外部研修、内部研修）
- (13) 市内の多様な団体やセクターとのこれまで以上の連携による新たな価値の創出（共創）

9. モニタリングへの取り組み

「協定内容の履行を確保し、市民に対して質の高いサービスの提供を実現するため」に行われているモニタリングへの取り組みは、協定事業の遂行とともに、独自計画を付加した年度事業計画の効果的推進により、利用者評価に耐えうる施設運営、サービス提供に努める。また、評価結果はこれを真摯に受け止め、スタッフで共有し、事業運営に活かす努力をする。

10. 情報セキュリティ・個人情報保護研修会

個人や団体の情報を預かる支援センターは、その情報の保護管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティ研修を定期的に関行する。また、監査人による監査で適正な情報管理のチェックを受けると共に、法令及び八王子市指定管理者における情報セキュリティガイドライン、支援センター情報セキュリティ管理マニュアル

等の遵守を徹底する。

1 1. 八王子市環境マネジメントシステムへの対応

八王子市役所環境マネジメントシステムへの対応として、それぞれの部門や事業が環境配慮行動に取り組むとともに、支援センターの特性である団体活動サポートや様々な事業を通して環境マネジメントに取り組む。